



# Executive Interview

エグゼクティブ  
インタビュー

no. 12

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

株式会社 クボテック 代表取締役社長

## 窪嶋 竜一 様

半導体製造装置や社会インフラ関連製品など、安全性や信頼性が求められる事業において、確かな技術に基づく高い品質で成長し続ける株式会社クボテック。秦野市西田原、秦野カントリークラブに近い本社を訪ね、代表取締役社長の窪嶋竜一様にお話を伺いました。

### ■ 秦野から世界へ MADE IN JAPANを発信していく

#### —2015年で創業50周年ということですが？

1965年私の父が創業、2012年1月に社長に就任しました。創業時は治工具や金型を製作するいわゆる機械加工屋としてスタートしました。それが我々のモノづくりの原点となり、現在では分電盤や制御盤を製作しています。

#### —45歳とまだお若く、ご自身より年齢が上の従業員の方もいると思います。従業員の方との関係性で気を使われたり苦勞されたりするものですか？

確かに気は使いますが、いざ仕事となるとあまり気にしていません。やはり、駄目なものには駄目と言いますし、どうしても歳上の方には人生経験では永遠に勝てないものですから、尊敬はしています。しかし仕事は別です。私よりずっと年上の

ベテランから20代の若手まで従業員の年齢層も幅広いため、いろいろ意見を聞こうとアクションしています。管理職との朝礼は毎朝実施していますし、女性社員の比率が多いので女子会なども開いています。みんなの意見を直接聞くとアイデアもいろいろ出てきます。できないこともあります。できることは積極的に実行するようにしています。それが社員のモチベーションに繋がると思います。

#### —海外への進出などせず、秦野市で操業を続けている理由は？

弊社の製品はほとんどが海外で使用されています。社員の3人から4人は毎週のように台湾、韓国、アメリカなどへ出張しています。「明日アメリカへ行ってくれないか」と依頼されることもあります。働く人は大変かもしれません。海外に今日の明日でもすぐに飛んで行き対応できる機動力は大事ですし、そうしたことを従業員も大切にしてくれています。



また、弊社は大量生産が得意ではありません。これからも多品種少量生産にこだわると東京、神奈川県は大手の開発拠点も多く秦野は非常に都合がいいです。大事なものは、国内でしっかりと技術力を高め、高度な仕事を行うことだと思います。それに、私自身秦野でずっと育ってきていますから、ここでやっていきたいという思いはありますね。



# 堅実なモノづくりに プラスアルファで信頼と成長を

——社長業はストレスも多いと思われ  
ますが、気分転換にはどうしているか  
を教えてください。

土をいじるのが好きで、自宅の庭に芝を  
植えたり、トマトを育てたりしています。  
最近ではバラやレモンやブルーベリーを  
作っています。果物は娘が喜ぶので一生  
懸命やっています。自分が育てたものを  
家族が食べて、喜んでくれると嬉しくて。

## ■ プラスアルファの価値で お客様の期待を超える モノづくり

——仕事をするうえで大切にしている  
ことは？

初めに取り組んだことは、私の思いを  
伝え、みんなでベクトルを合わせる  
ために、全員でビジョンを考えること  
でした。沢山の案の中からみんなで  
出した結論は、「クボテックは“お客様の  
信頼は要求品質を満たすこと、お客様の  
満足は+ $\alpha$ （プラスアルファ）の価値を  
提供すること。”これを実現することで  
社会の発展や豊かな生活に貢献します。」  
というビジョンです。一人ひとりが+ $\alpha$   
をどう考え、どのように仕事に生かして  
いるかが大事です。モノづくりという  
QCD（Q：Quality品質、C：Cost費用、  
D：Delivery納期）が重視されますが、  
私が考える+ $\alpha$ はQCDこれにさらに  
クボテックならではの開発提案力（D：  
Development開発）や環境に配慮した  
（E：Environment環境）モノづくり  
QCDDEを提供することが大事だと思  
います。

——50周年を順調に迎えられ、これから  
どう進めていきたいですか？

目標は、100年続く会社です。その  
ためには、信頼してもらえるだけでなく、  
さらに+ $\alpha$ の価値を提供することで  
お客様に満足してもらう。そこが100年  
続くビジョンになると信じています。  
「先の見えない時代に、100年なんて？」  
と思われるかもしれませんが、将来の  
ために、今やるべきことははっきりして  
います。それは、クボテックにしかできない  
モノづくりで+ $\alpha$ の価値を提供し、1年  
1年確実に利益を出していくこと。当然、  
今までの成功にしがみついているはいけ  
ません。新しいチャレンジで、さら  
にお客様の期待を超え、自分たちの殻を  
破るような努力も必要です。

設計部門を始め、お客様と対応する  
方々には、新規・開発案件の受注をつかみ、  
お客様のニーズに敏速に対応するよう  
に言っています。技術競争が激しい業界  
のお客様が多いこともあり、開発がらみ  
の製品づくりは困難を極めますが、そこ  
から得られるものも大きいのです。始  
めは無理難題と思えたようなオーダー  
でも、それをクリアした結果がお客様  
との確固たる関係を構築し、さらには  
1年後2年後の仕事に繋がっていきま  
す。ここ4~5年はこの繰り返しです。た  
だ、百発百中で上手くいくかと言えば  
そうではなくて、10件やって、半分は  
実現しないこともあります。そうは言  
って新しい

## 株式会社 クボテック

〒257-0027

神奈川県秦野市西田原1220

TEL：0463-82-1211 FAX：0463-82-1213

URL：<http://www.kubotec.co.jp>



ものにチャレンジしていかなくては、次  
につながる技術もアイデアも生まれませ  
ん。50周年と言っても、創業当時は全  
く別の事業をしていましたし、これか  
ら50年先には違う業態になっているか  
もしれません。ただし、会社のビジョ  
ンに「地域と社会のために」と入れて  
いるように、地域や社会の役に立て  
る仕事をしていきたいと思っています。  
モノづくりを軸に、秦野から「MADE  
IN JAPAN」を発信していこうという  
姿勢は変わりません。



【エクセレントパートナー受賞の盾】  
2014年12月、半導体製造装置大手  
メーカー「東京エレクトロン社」  
より、全世界の取引業者の中から、  
最も称賛される会社に選ばれ、  
“Excellent Partner Award”を  
受賞しました。  
今回の受賞は、短納期への対応、  
および数多くの開発要求の実現に  
向けた取り組みが評価されました。  
（この盾は半導体を作るうえで  
欠かすことのできない300mmの  
シリコンウェハーでできています）

## <インタビューを終えて>

100人近くの技術者を率いるトップの  
責任からか、厳しい表情が多かったのが、  
気分転換の庭の手入れや果物作りを話  
された時の柔らかい表情にONとOFFの  
スイッチを見たように思えました。

飽くなきチャレンジ精神で、リニア  
モーターカーなど、新しい社会イン  
フラへの技術提供の実現が楽しみです。